

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆世帯平均所得7.3%増の575万円 25年調査、1990年代のピーク届かず

・厚生労働省が公表した2025年の国民生活基礎調査によると、24年の世帯平均所得は前年比7.3%増の575万2000円。伸び率は1986年の調査開始以来最大。額はピークの94年の664万2000円をなお下回っている。世帯所得の中央値も前年の410万円から451万円に上昇。一方で生活が「苦しい」割合は55.4%と比較可能な22年調査から4.1ポイント上昇。

#### ◆子育て支援企業に金利優遇、14金融機関を認定 こども家庭庁

・こども家庭庁は子育て支援に力を入れる全国14の地域金融機関を「こどもまんなかりーディングバンク」に認定したと発表。育休の取得といった子育て支援に取り組む企業を金利優遇などで支援。それぞれに最大2000万円を補助して、低利融資などを促す。金融機関側にも働き方改革や、こどもの自殺防止につながる啓発活動への参加などを求める。

#### ◆欧州熱波でエアコン輸出4割増 それでもさえぬ中国家電株

・ヨーロッパ全土が激しい熱波に見舞われる中、中国製エアコンがにわかに注目を集めている。すでに供給が追いつかず、入手が困難な国も。特需にもかかわらず、エアコンを手掛ける中国の家電メーカーの株価は国内不振もあり年初来でみるとさえない。足元で見直し買いの兆しもみられるなか、先行きの株価動向を左右しそう。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆タカスタンダード、9月から「資材価格調整費」設定

・資材価格高騰への緊急対応として、商品価格とは別途「資材価格調整費」を設定することを決めた。対象製品はシステムキッチン・システムバス・洗面化粧台。また、2027年4月には価格改定を予定していることも明らかにした。資材価格調整費は5000～3万円で、適用は9月1日注文分から。商品価格を改定するまでの暫定的な対応。

#### ◆5月の機械受注12.4%減、2カ月ぶりマイナス 判断「持ち直し」維持

・内閣府が発表した5月の機械受注統計によると、設備投資の先行指標とされる民需は前月比で12.4%減の9620億円。2カ月ぶりに減少。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」で据え置いた。4月が8.7%プラスだったことを踏まえた。月ごとのぶれをならした3カ月移動平均は4.8%減。製造業は4372億円と前月から14.9%減った。マイナスは2カ月ぶり。

#### ◆製造業のレアアース調達コスト、直近1年で平均22%上昇 民間調査

・サプライチェーンのリスク管理を手がけるレジリアは国内製造業のレアアース(希土類)調達に関する調査結果を発表。直近1年の調達コストは平均22.3%上昇した一方、約1割が上昇分を全く転嫁できていないと回答。調査は6月、製造企業でレアアースや関連素材・部品を調達する意思決定者400人を対象にインターネットで実施。

### 《 注目商品 》

#### ■DAIKEN、主力内装建材シリーズに新色「フォググレー」

・内装建材シリーズ「イエリア スタンダード」のドア、収納、造作部材等に新色「フォググレー 柄」を追加。新色のフォググレー柄は、木や石などさまざまな素材と調和し、グレー系の壁紙ともコーディネートしやすいミディアムトーンの無地調グレーカラー。



#### ■TOTO「バリアフリースイレみまもり機能」

・パブリックレストルームにIoTを活用した「TOTO CONNECT PUBLIC」の追加オプションとして「バリアフリースイレみまもり機能」を提供。ミリ波を活用した技術による空間センサーで、バリアフリースイレを24時間自動で見守り、自動検知を行う機能。



#### ■アイリスオーヤマ、室温連動モード搭載のサーキュレーター「WOOZOO 360 i」

・室温変化に応じて自動で運転を制御する「室温連動モード」を新たに搭載したサーキュレーター「WOOZOO 360 i」を発売。エアコンの風が当たる位置に設置するだけで、内蔵の温度センサーが室温の変化を検知し、電源のON/OFFに加え、最適な首振り動作を自動で行う。

